

手書き研修部の学習について



自粛明けの初学習会はパソコン研修部の「ウェブ会議ツールの Zoom」についての学習。手書きは他の学習を考えていましたが、Zoom に興味深々。結局はパソコン研修部との合同学習をお願いし、手書き研修における Zoom の可能性を教えてくださいました。

Zoom 会議へは、あらかじめ主催者から送られてきた案内メールに添付された URL を開いてから参加する方法と、ミーティング ID を手入力して参加する方法があります。パソコン、タブレット、スマホでも参加できます。

週2～3回 Zoom 学習会に参加したメンバーで慣れるために繰り返し試しました。Zoom を使った手書きの学習はまだ試していませんが、画面を共有するところまで確認でき、1つの資料を共有して語彙や漢字の確認をしてみました。

7月より手書き学習会を再開しました。ノートテイクが主ですが、久しぶりに文字を書く難しさや楽しさを感じています。また試験対策の自主学習会も開催します。こちら皆さんの参加をお待ちしています。

(久松 久仁子)

ある日突然



Zoom



皆さん、お久しぶりです。私や家族の病気、介護などいろいろあり、今は県をまたいだ移動をする生活が数年続いています。サークルの活動にも参加できない中、このコロナの状況になりました。

あら、いつの間にか時代はリモート、オンラインに。陽ざしの会でも Zoom の学習会が開かれ、お誘いのメールが届きました。これならどこにいても大丈夫。思い切って参加してみました。音も映像も何人でも大丈夫。同じ音源を聞いて、皆で要約筆記をしたり、おしゃべりしたり。数年のブランクも感じなくなっていました。

今は音声で文字になる時代。実際にUDトークを使って情報保障をしているところもあります。時代は確実に変化するし、ある日突然世界が変わることも実感しましたね。遠隔支援、音声認識、ビデオ通話等今までも使われていた機能ですが、実際に会うことが難しくなって一気に注目されています。Zoom で会えて嬉しかったのと同時に、実際に会うことの大切さもわかりました。

(平野 美佐子)



要約筆記に出会って

大分県難聴者協会 山本 美江子

要約筆記・要約筆記者については、3年前に入会した県難聴者協会の例会で要約筆記者「陽ざしの会」の皆さんにお世話になって初めて知りました。

家族の中では相手が合わせてくれるので、気兼ねせず会話ができますが、外で複数の人との会話では一方的に喋るか聞くだけになりやすく、会話そのものが億劫になっていきます。その点、難聴者協会でのお喋りは要約筆記者により直ぐに要約され、忠実に手書きのOHCやパソコンで映し出されるので話題を共有することができます。

講演会ではパソコンやノートテイクでお世話になっています。要約筆記の存在に目から鱗、聴こえのバリアが大きく除かれた思いでした。最近は「筆談をお願いします。」で役所や銀行、市役所窓口でも筆談ボードなどで非常に良く対応してくれます。

先日、病院で主治医が耳元グッズを使って説明してくれたのには感激でしたが、やはり最も不便な場面は病院です。この歳になりますと何箇所も病院にお世話になり、行った先々で毎回、難聴であることを伝えます。呼ばれても気づかず、スピーカーの音も割れて耳に入ります。補聴器も万能ではなく、大声なら聞こえるとは限りません。受付から検査、診察後会計が終わるまで何人もの担当者にお世話になりながら、病院を出るまで緊張して過ごします。

今年の新型コロナウイルス感染拡大防止により世界中の人がマスクをつけますので、これからは年中マスク姿になるでしょう。新しい日常生活の仕方を身につけなければなりません、難聴者にはかなり厳しいと覚悟しています。

災害や今回のコロナ禍では、不自由であっても出来るだけ早く正確な情報を受けなければなりません。緊急事態宣言で国や自治体の発表も当初は手話通訳が付くのが精一杯でした。手話だけでなく、手話の出来ない人にも見える要約筆記の起用もあればと痛切に感じ、手話通訳に比べ要約筆記の認知度は低いと実感しました。

健聴者には画面にボードが出されたり字幕が映ると目障りかもしれませんが、緊急時には誰も平等に速く正確な情報を受け取らなければならないのです。

県下で現在要約筆記者がいるのは、大分市、別府市、中津市、佐伯市、由布市で、それ以外の市町村からの要請はこれらの市から派遣しているようです。自治体も難聴者に要約筆記という手段の存在を出来るだけ広く教える必要があるでしょう。難聴者自身ももっと声を上げて養成を促さなければ、不自由のない人には分かってもらい難しい問題です。また、難聴者団体の要請により国会中継を字幕で見ることが出来るようになりました。議会の各委員会にも字幕が入るともっと国会に関心を持てると思います。一般のテレビで字幕選択が出来る番組は格段に多くなりましたが、未だ地方局制作の番組では少なく、我々にとって身近なテーマが主であるだけに残念で勿体ないことです。